

広島がん高精度放射線治療センター（HIPRAC）の運営状況について

1 要旨・目的

広島がん高精度放射線治療センターにおける令和3年度の運営状況について報告する。

なお、収益的収支については、事業全体の財務状況を明らかにするため、公営企業会計の手法により試算している。

2 現状・背景

令和3年度の新規患者数は626人で目標達成率は101.3%となった。令和2年度との比較では、16人の増加（+2.6%）となっており、新型コロナウイルス感染症による影響が減少したことに加え、センター長による病院訪問実施（計21施設）の効果が考えられる。

高精度放射線治療患者の割合は上昇しており、高度で効果的な放射線治療の提供に貢献している。

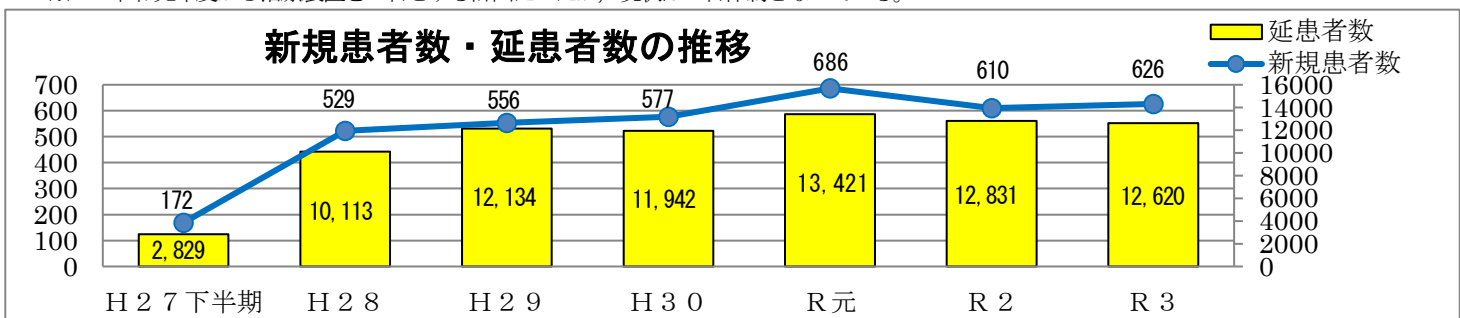
3 概要

(1) 対象者（患者数）

区分	R2 上半期	R2 下半期	R2計(A)	R3 上半期	R3 下半期	R3計(B)	R3とR2 の差(B-A)
新規患者数	318人	292人	610人	304人	322人	626人	+16人
高精度 IMRT 定位	131人	143人	274人	138人	167人	305人	+31人
	47人	47人	94人	47人	44人	91人	△3人
	3D-CRT	140人	102人	242人	119人	111人	△12人
うち4病院 ^{*1}	179人	169人	348人	157人	198人	355人	+7人
うち4病院以外	139人	123人	262人	147人	124人	271人	+9人
当初計画 ^{*2}	310人	308人	618人	312人	306人	618人	—
達成率	102.6%	94.8%	98.7%	97.4%	105.2%	101.3%	—

※1 広島市内4基幹病院（広島大学病院、県立広島病院、広島市立広島市民病院、広島赤十字・原爆病院）

※2 令和元年度から治療装置を5台とする計画だったが、現状は3台体制となっている。



(2) 実施内容（運営状況）

ア 運営収支（医業収支のうち減価償却費を除く）

運営収支は、70,496千円の黒字となっている。令和2年度との比較では、正規職員の欠員補充に伴う給与費の増等から黒字額が減少しているが、平成30年度以前との比較では上回っており、収支は改善傾向にある。

区分	収入(A)	支出(B)	差(A-B)
H27決算	98,438千円	144,432千円	△45,994千円
H28決算	376,791千円	391,534千円	△14,743千円
H29決算	464,425千円	452,454千円	11,971千円
H30決算	460,867千円	436,646千円	24,221千円
R元決算	532,327千円	440,901千円	91,426千円
R2決算	520,008千円	441,721千円	78,287千円
R3決算	527,076千円	456,580千円	70,496千円

イ 収益的収支の状況

(単位：千円)

区 分		R2年度(A)	R3年度(B)	(B)－(A)
収 益	医業収益	519,197	526,267	7,070
	うち外来収益	510,085	517,848	7,763
	うちその他医業収益	9,112	8,419	△693
	医業外収益	274,708	51,993	△222,715
	収益計	793,906	578,260	△215,646
費 用	医業費用	841,574	488,714	△352,860
	うち給与費	236,261	246,126	9,865
	うち材料費	8,330	6,538	△1,792
	うち経費	177,590	183,899	6,309
	うち減価償却費	419,393	52,151	△367,242
	医業外費用	60,720	61,347	627
	費用計	902,294	550,061	△352,233
経常収支		△108,388	28,199	136,587

ウ 診療報酬収入

収益（診療報酬請求）は、517,848千円で、当初計画の70.5%であり、令和2年度との比較では、7,763千円の増（+1.5%）であった。

区 分	R2 上半期	R2 下半期	R2計(A)	R3 上半期	R3 下半期	R3計(B)	R3とR2 の差(B-A)
診療報酬収入(千円)	263,488	246,597	510,085	242,357	275,491	517,848	+7,763
1日当たり収入(千円)	2,125	2,002	2,063	1,954	2,257	2,105	+42
1日治療患者	55.0人	48.8人	51.9人	48.3人	54.3人	51.3人	△0.6
1人治療単価	38,640円	41,017円	39,754円	40,454円	41,558円	41,034円	+1,280
当初計画(千円)	368,975	365,999	734,974	370,475	364,499	734,974	—
達成率	71.4%	67.4%	69.4%	65.4%	75.6%	70.5%	—

エ 高精度放射線治療患者の占める割合と単価

高精度割合（延べ治療患者数ベース）は、72.5%で、令和2年度との比較では、5.2ポイント上昇している。

治療方法	R2 上半期	R2 下半期	R2計(A)	R3 上半期	R3 下半期	R3計(B)	R3とR2 の差(B-A)
高精度治療	63.5% @45,521円	71.6% @45,968円	67.3% @45,744円	69.9% @45,706円	74.8% @45,649円	72.5% @45,675円	+5.2ポイント △69円
IMRT	60.9% @40,110円	68.7% @40,177円	64.6% @40,143円	67.0% @40,411円	72.1% @40,597円	69.7% @40,512円	+5.1ポイント +369円
定位	2.6% @174,666円	2.9% @183,458円	2.7% @179,062円	2.9% @170,112円	2.7% @178,283円	2.8% @174,325円	+0.1ポイント △4,737円
3D-CRT	36.5% @26,420円	28.4% @28,325円	32.7% @27,194円	30.1% @27,736円	25.2% @28,524円	27.5% @28,115円	△5.2ポイント +921円

(3) 予算(R4)

183,267千円(単県)

4 その他

公営企業会計の手法による財務状況の試算は、別紙(参考)のとおり。

令和3年度広島がん高精度放射線治療センターの財務状況（病院会計準則による試算）

1 趣旨

広島がん高精度放射線治療センターの整備及び運営は、一般会計等により経理しているが、事業全体の状況を見るため、令和3年度決算（整備費は平成27年度以前のものを含む）を公営企業会計（病院会計）の手法により試算した。

- 公営企業会計では、減価償却費等の一般会計においては実際に支出を伴わない経費を含む。
- 建物等の整備に係る費用には、平成23年度から平成27年9月30日までのものを含む。
- 損益計算書及び貸借対照表は、消費税抜きの金額である。（損益計算書で消費税は雑損失で計上。）
- 指定管理者が利用料金（診療報酬）で賄った経費を医業費用に振り分けて計上している。
- 各項目を千円単位に四捨五入して記載しているため、合計が各項目の計と一致しない場合がある。

2 損益計算書（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで（単位：千円））

科 目		R 2	R 3	差	備 考
医業 収益	外来収益	510,085	517,848	7,763	【治療単価の増】
	その他医業収益	9,112	8,419	△693	文書料, 委託料（政策的経費）等
	計	519,197	526,267	7,070	
医業 費用	給与費	236,261	246,126	9,865	給与, 賞与等
	材料費	8,330	6,538	△1,792	医薬品, 診療材料
	経費	23,030	23,601	571	消耗品, 光熱水費等
	委託費	152,058	156,067	4,009	医事, 清掃, 保守委託等
	減価償却費	419,393	52,151	△367,242	【医療機器の償却期間終了による減】
	修繕費	1,805	2,618	813	
	研究研修費	696	1,613	917	研修参加費等
計	841,574	488,714	△352,860		
医業収支		△322,377	37,553	359,930	
医業外 収益	長期前受金戻入	232,715	0	△232,715	再生基金（医療機器）等
	その他医業外収益	41,993	51,993	10,000	建物等償還金県費（利子・元金）
	雑収入	0	0	0	
	計	274,708	51,993	△222,715	
医業外 費用	支払利息	11,547	10,945	△602	土地取得, 建物整備
	長期前払消費税償却	29,778	29,778	0	資産取得に係る消費税
	雑損失	19,394	20,624	1,230	消費税
	計	60,720	61,347	627	
医業外収支		213,989	△9,354	△223,343	
経常収支（当年度純利益）		△108,388	28,199	136,587	

3 貸借対照表（令和4年3月31日現在（単位：千円））

（1）資産の部

科目		R2	R3	差	備考
固定資産	土地	1,115,025	1,115,025	0	
	建物	1,899,798	1,899,798	0	
	器械備品	2,556,348	2,556,348	0	
	減価償却累計額	△2,305,730	△2,357,880	△52,150	建物, 器械備品
	長期前払消費税	154,681	124,903	△29,778	建物, 器械備品
	計	3,420,123	3,338,194	△81,929	
流動資産	現金・預金	18,980	23,543	4,563	
	貯蔵品	1,420	1,420	0	診療材料, 消耗品等
	計	20,400	24,963	4,563	
資産合計		3,440,523	3,363,157	△77,366	

（2）負債の部

科目		R2	R3	差	備考
固定負債	企業債	2,808,508	2,465,892	△342,616	病院事業債
	退職給付引当金	18,588	23,134	4,546	
	長期借入金	60,736	60,736	0	累積一般財源補てん（運営費）
	他会計長期借入金	605,756	794,960	189,204	累積一般財源補てん（起債償還）
	計	3,493,589	3,344,722	△148,866	
流動負債	短期借入金	0	0	0	一般財源補てん（運営費）
	他会計短期借入金	189,203	232,488	43,285	一般財源補てん（起債償還）
	預り金	392	409	17	従業員預り金
	計	189,595	232,897	43,302	
繰延収益	長期前受金	1,581,788	1,581,788	0	再生基金（医療機器）
	長期前受金収益化累計額	△1,280,363	△1,280,363	0	基金の収益化累計額
	計	301,425	301,425	0	
負債合計		3,984,609	3,879,044	△105,565	

（3）資本の部

科目		R2	R3	差	備考
資本金	資本金	155,087	155,087	0	土地一般財源, 基金（土地）等
	計	155,087	155,087	0	
剰余金	負担金	267,600	267,600	0	広島市負担金（土地）
	当年度純利益	△108,388	28,199	136,587	
	計	159,212	295,799	136,587	
前年度繰越欠損金		△858,385	△966,773	△108,388	
資本合計		△544,086	△515,887	28,199	

資産（負債＋資本）合計	3,440,523	3,363,157	△77,366	
-------------	-----------	-----------	---------	--

4 キャッシュフロー計算書（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで（単位：千円））

(1) 業務活動によるキャッシュフロー

区 分	R2	R3	差	備 考
当年度純利益	△108,388	28,199	136,587	
減価償却費	419,393	52,151	△367,242	【医療機器の償却期間終了による減】
退職給付引当金の増減額（△は減少）	4,674	4,546	△128	
長期前受金戻入額	△232,715	0	232,715	再生基金（医療機器）
支払利息	11,547	10,945	△602	
長期前払消費税償却	29,778	29,778	0	
預り金の増減額（△は減少）	△23	17	40	
小 計	124,266	125,636	1,370	
利息の支払額	△11,547	△10,945	602	
業務活動によるキャッシュフロー	112,719	114,691	1,972	

(2) 投資活動によるキャッシュフロー

区 分	R2	R3	差	備 考
有形固定資産の取得による支出	△27,175	0	27,175	器械備品取得
投資活動によるキャッシュフロー	△27,175	0	27,175	

(3) 財務活動によるキャッシュフロー

区 分	R2	R3	差	備 考
短期借入れによる収入	0	0	0	一般財源補てん（運営費）
他会計短期借入れによる収入	189,203	232,488	43,285	一般財源補てん（起債償還）
起債による収入	26,400	0	△26,400	医療機器
起債の償還による支出	△296,496	△342,616	△46,120	機器, 建物, 土地（元金部分）
財務活動によるキャッシュフロー	△80,893	△110,128	△29,235	

資金増加額	4,651	4,563	△88	
資金期首残高	14,328	18,980	4,652	
資金期末残高	18,980	23,543	4,563	